

活動報告

- 活動日時：2025年1月26日 9:30~16:00
- プログラム名：カブトムシの森 伐倒と材処理
- 活動場所：カブトムシの森 こもれびゾーン（A地区）
- 参加者 15名（内体験者4名）
- 活動概要：クヌギの伐倒4本（直径23.5, 30, 26, 34cm）と材処理
- 活動内容：

本日は、体験参加者4名を迎えた作業となりました。

初めに自己紹介、作業説明、体操を行い、道具をつんでカブトムシの森へ移動。せせらぎゾーン（B地区）の森会で製作したベンチ周辺に道具を置いて集合写真撮影。伐倒2班と材処理班に分かれて作業を行いました。伐倒木が影響しないよう、こもれびゾーン西側（伐倒1班）、東側（伐倒2班）に分け、安全確保のあと作業を開始しました。

伐倒1班は、キャンプ場側に偏心したクヌギをいつものようにロープ掛けし、伐倒開始。受口切りはチェーンソーで切り、追い口切りに入りましたが、偏心しているため鋸が入らず、ロープを引ながらの伐倒作業となりました。ここで、ロープが外れるというアクシデント発生。再度、ロープをかけなおし、滑車で追い口側にロープの先を持っていき、安全確保、ロープを引ながら伐倒しました。最終的には、狙った方向にみごと伐倒できました。



【ロープ掛け】



【追い口切り】

伐倒2班は、クヌギの大木です。こちらも受口をチェーンソーで切り、追い口は鋸で慎重にきり、クサビをいれ、伐倒方向に正確に倒すことができました。2本目も倒し枝を落として丸太の状態に材処理しました。この丸太2本は30周年用に長いベンチにする予定。「みんなで腰かけて昼食を食べると絵になるね。テーブルもほしいな」との

声もありました。あとは30周年記念行事グループが企画して、立派なベンチになると
思います。一方、体験参加者中心の材処理班は、会の説明のあと秋に伐採したコナラ
の残材と柏陵高校の研修で伐採したツバキの残材を処理する体験をしました。

<体験者の感想>

チームワークよく作業されていたので楽しく参加できました。

会の皆さんが親切に指導してくださったおかげで、勉強になりました。内容の専門性
が高くて驚きました。



【材処理】



【集合写真】



【ベンチ用の丸太】